

カリキュラムマップ：文学研究科 書道学専攻 博士課程前期課程（2022年度）

ディプロマ・ポリシー		
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自立的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感
（1）書学と書作の両分野における深い知識と高度な技術を修得しており、日本および中国古典を主とした様々な文化を総合的に捉えることができる。 （2）古典中国語（漢文）および古文の読解力を有し、的確に言語を使用することができる。	（1）中国および日本の書作品を鑑賞し、批評・分析できるとともに、それを他者に的確に伝えることができる。 （2）自らの考えをまとめ、作品や論考などにおいて豊かに表現することができる。	（1）「中国書学」「日本書学」「中国書法」「日本書道」「書跡文化財学」のいずれかに関わるテーマに沿って、主体的に専門性を深めることができる。 （2）書をめぐる東洋文化に立脚した東西文化の交流を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)
1	中国書学・書法特殊研究（一）A	前期	講義	○		○	○		○
2	中国書学・書法特殊研究（一）B	後期	講義	○		○	○		○
3	中国書学・書法特殊研究（二）A	前期	講義	○		○	○		○
4	中国書学・書法特殊研究（二）B	後期	講義	○		○	○		○
5	中国書学演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
6	中国書学演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
7	中国書学演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
8	中国書学演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
9	日本書学演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
10	日本書学演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
11	日本書学演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
12	日本書学演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
13	日本書道演習（二）	通年	演習	○	○	○	○	○	○
14	中国書学演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
15	中国書学演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
16	中国書学演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
17	中国書学演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
18	中国書法演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
19	中国書法演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
20	中国書法演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
21	中国書法演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
22	中国書法演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
23	中国書法演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
24	中国書法演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
25	中国書法演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ：文学研究科 書道学専攻 博士課程前期課程（2022年度）

ディプロマ・ポリシー		
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感
（1）書学と書作の両分野における深い知識と高度な技術を修得しており、日本および中国古典を主とした様々な文化を総合的に捉えることができる。 （2）古典中国語（漢文）および古文の読解力を有し、的確に言語を使用することができる。	（1）中国および日本の書作品を鑑賞し、批評・分析できるとともに、それを他者に的確に伝えることができる。 （2）自らの考えをまとめ、作品や論考などにおいて豊かに表現することができる。	（1）「中国書学」「日本書学」「中国書法」「日本書道」「書跡文化財学」のいずれかに関わるテーマに沿って、主体的に専門性を深めることができる。 （2）書をめぐる東洋文化に立脚した東西文化の交流を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)
26	日本書道演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
27	日本書道演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
28	日本書道演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
29	日本書道演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
30	書跡文化財学演習（一）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
31	書跡文化財学演習（一）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
32	書跡文化財学演習（二）A	前期	演習	○	○	○	○	○	○
33	書跡文化財学演習（二）B	後期	演習	○	○	○	○	○	○
34	日本書学・書道特殊研究（一）A	前期	講義	○	○	○	○		
35	日本書学・書道特殊研究（一）A	前期	講義	○		○	○		○
36	日本書学・書道特殊研究（一）B	後期	講義	○	○	○	○		
37	日本書学・書道特殊研究（一）B	後期	講義	○		○	○		○
38	日本書学・書道特殊研究（二）A	前期	講義	○	○	○	○		
39	日本書学・書道特殊研究（二）A	前期	講義	○		○	○		○
40	日本書学・書道特殊研究（二）B	後期	講義	○	○	○	○		
41	日本書学・書道特殊研究（二）B	後期	講義	○		○	○		○
42	文化財保存学特殊研究（一）A	前期	講義	○			○	○	○
43	文化財保存学特殊研究（一）A	前期	講義	○		○	○		
44	文化財保存学特殊研究（一）B	後期	講義					○	○
45	文化財保存学特殊研究（一）B	後期	講義	○		○	○		
46	文化財保存学特殊研究（二）A	前期	講義					○	○
47	文化財保存学特殊研究（二）A	前期	講義	○		○	○		
48	文化財保存学特殊研究（二）B	後期	講義					○	○
49	文化財保存学特殊研究（二）B	後期	講義	○		○	○		
50	書写書道教育特殊研究（一）A	前期	講義	○		○	○		

カリキュラムマップ：文学研究科 書道学専攻 博士課程前期課程（2022年度）

ディプロマ・ポリシー		
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自立的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感
（1）書学と書作の両分野における深い知識と高度な技術を修得しており、日本および中国古典を主とした様々な文化を総合的に捉えることができる。 （2）古典中国語（漢文）および古文の読解力を有し、的確に言語を使用することができる。	（1）中国および日本の書作品を鑑賞し、批評・分析できるとともに、それを他者に的確に伝えることができる。 （2）自らの考えをまとめ、作品や論考などにおいて豊かに表現することができる。	（1）「中国書学」「日本書学」「中国書法」「日本書道」「書跡文化財学」のいずれかに関わるテーマに沿って、主体的に専門性を深めることができる。 （2）書をめぐる東洋文化に立脚した東西文化の交流を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)
51	書写書道教育特殊研究（一）B	後期	講義	○		○	○		
52	書写書道教育特殊研究（二）A	前期	講義	○		○	○		
53	書写書道教育特殊研究（二）B	後期	講義	○		○	○		
54	中国美学特殊研究A	前期	講義	○	○	○	○	○	○
55	中国美学特殊研究B	後期	講義	○	○	○	○	○	○
56	東洋美術史特殊研究A	前期	講義		○	○			○
57	東洋美術史特殊研究B	後期	講義		○	○			○